

広報



特集

子どもを安心して 育てられるまちへ……P2~5

【シリーズ】風評被害を吹き飛ばそう！がんばろう常陸太田！

今年も美味しい常陸太田の「米」……………P6

おめでとうございます……………P7

夏祭り盛大に開催……………P10~11

汗と涙の5日間 久慈の杜 100km 徒歩の旅……………P12

トピックス……………P14~15

平成23年(2011)

9

月号

No.598

【鯨ヶ丘が熱気に包まれた、がんばってます常陸太田夏祭り】

子どもを安心して 育ててもらえるまちへ

親子の笑顔のために

子育ての不安や悩み

少子化が進む現在、市では子育ての支援に最も力を入れていきます。

平成21年に市が行った「次世代育成支援に関するニーズ調査※①」では、「子育てをするうえで特に不安や悩んでいること」についての質問に、就学前児童や小学校児童の保護者の方は「出費がかさむ」ことに、最も不安を感じています（グラフ①参照）。

また、今年2月に行った「市民アンケート調査※②」の少子化対策に関する質問では、「子育てをしながら働ける職場環境の整備」、「安心して子どもを育てられる生活環境の整備」などが、それぞれ多くの方が必要と感じています（グラフ②参照）。

行政と地域でつくる 子育て環境

このように、子育て中には

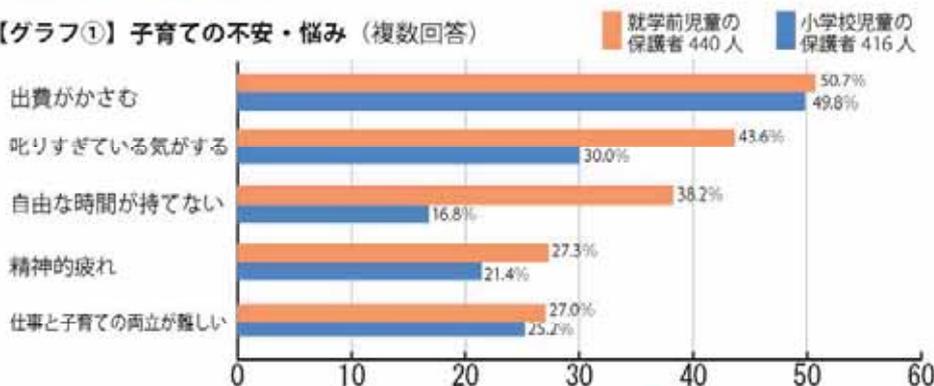
様々な不安や悩みがつきものです。

本市では、子育て家庭等への経済的な支援、仲間づくりのお手伝いや情報提供などの様々な施策を展開し、市民の皆さんが安心して子どもを育てることのできる環境づくりを進めています。

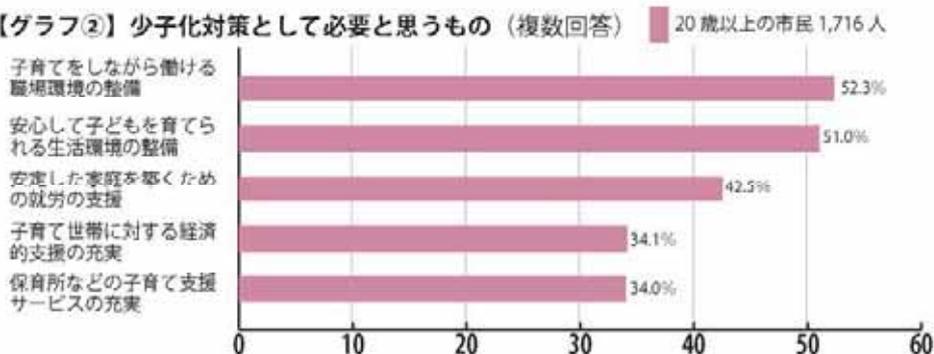
また、地域でも様々なグループが子育てを支援する活動をしています。



【グラフ①】子育ての不安・悩み（複数回答）



【グラフ②】少子化対策として必要と思うもの（複数回答）



※①子育て支援に関するサービスニーズを把握するため、就学前児童および小学校児童の保護者1665人を対象に行った調査（回答数856票）
 ※②市第5次総合計画後期基本計画を策定するため、20歳以上の市民および中高生6562人を対象に行った調査（有効回答票4957票。市ホームページで結果をお知らせしています）

「ひこうき雲」はCafe結十1（東一町）に置いて、現在、配布についている方法について検討



ひこうき雲主催の「おひさまCafe」。子育てママの様々な情報交換の場となっている
問ひこうき雲事務局 76-2356

子育て調査隊 ひこうき雲 親子で楽しめる場所を情報発信していく。

市内で行ったことがない場所って意外とありませんか？ 子連れでどこに行こうか困っている方は多いはず。

そこで、私たち12人の会員が、子どもと一緒に楽しめる市内の場所を実際に訪れ、体験したことを手作りの会報「ひこうき雲」で情報発信しています。どんなに親子で楽しめる場所や育児に関する様々なサポートがあっても、なかなか知る機会がありませんよね。お母さんや小さいお子さんが家にこもり切りにならず、もっとまことに繰り出し、親子で楽しんでもらいたい。そんな思いで「ひこうき雲」を作っています。



代表 秋山 智代 さん
(玉造町)

保育サークル こぐまの会

ママ友の輪を広げ、子どもと触れ合える時間を。



会長 久保木 由美子 さん
(亀作町)



カクなし月
イヤト管
ス材ン運
の教れて3
会子プを毎
で。し充月
の様ス費(を
ぐりマ会る
割りどて曜
日9:30
問世矢公民館 74-3909

世矢公民館を利用した活動を始めて14年目。子育ての先輩でもある楽しい先生と、親子で体を動かしたり、簡単な工作や遠足、水遊び、運動会、お誕生会、絵本の読み聞かせなどを行っています。

会員は幼稚園に入る前までの子どもを持つ方で、就園に向けて子どもを団体生活に慣れさせる目的のほか、育児の相談や情報交換の場にもなっています。

家では家事などで忙しく、子どもと向き合う時間がなかなかとれないもの。こぐまの会でママ友の輪を広げて楽しい時間を過ごしながら、子どもとたくさん触れ合っただけでいいと思います。皆さん、気軽に遊びに来てください。

会社員・イクメンの代表

育児への参加は家族のコミュニケーション。



1日でも癒
から話して
うかがって
の笑顔で疲
ほふと仕事
の来ると話
子ども出ると
される中館さん

【イクメンとは？】
育児に積極的に参加する男性のこと

2人の子を持つ会社員です。会社から早く帰宅したときは、子どもと一緒に風呂に入り、寝るときは本を読みながら寝かします。自宅にいるときは、積極的に子どもに関わり、子どもの視線になって、熱心に話を聞いてあげるように心がけています。褒め方と叱り方は難しいと感じますね。

育児に関わるようになって、仕事に対するモチベーションも上がっていますよ。

男性の育児参加は、妻の育児の負担を減らしてあげられると同時に、家族の日常のコミュニケーションにとって大切なことではないかと思っています。



中館 和人 さん
(下利員町)

こんなにあります 市の子育て支援

経済面から支援

第3子以降の保育料を無料化

保育園や市立幼稚園に入園する第3子以降のお子さんの保育料を無料化しています。問子ども福祉課内線146 / 教育総務課(内線562)

0歳～中学3年生の医療費を助成

健康保険証を使用して医療機関で受診した場合、医療費の自己負担分の一部を助成します。

問保険年金課(内線117・118)

乳児のおむつ購入費を助成

乳児1人あたり2万円を限度に助成します。問子ども福祉課内線146

ファミリー・サポート・センターの利用料を減額

利用者の自宅で産前産後のお世話、子どもの一時保育など、1時間400円で利用できます。問社会福祉協議会ファミリー・サポート・センターほのほのおた(72 4574)

不妊治療費を助成

1回10万円を限度に年度内2回の費用を助成します(通算5年間)。
* 県の助成(1回15万円限度)も合わせて受けることができます。

問健康づくり推進課(73 1212)

妊婦一般健康診査料を助成

最大14回、一部公費負担により健診を受けることができます。

問健康づくり推進課(73 1212)



黒澤 貴子 さん
(白羽町)

小・中学校を回り、先生や地域の人と、不登校や子ども家庭環境といった問題や相談、改善策について話し合っています。

子育てについて誰に相談していいのか分からずに、一人で悩んでいると、ノイローゼや児童虐待につながる恐れがあります。そういったことを未然に防ぎたい思いで、私たち児童委員は活動しています。

私はまず「お母さんになって何年ですか？」と聞きます。誰も最初から親として完璧な人はいません。子どもが日々成長するように、親としても日々成長していくものだ、相談者にはアドバイスしています。

だから、深く悩まずに気を楽しんで子育てをして欲しい。上手な子どもの寝め方や叱り方など、一人でも多くの方に伝えたいですね。

ファミリー・サポート・センター

いろいろな人の育児をサポートしていく。



社会福祉協議会
ファミリー・サポート・センター
「ほのぼのおおた」協力会員

島田 芳枝 さん 野沢加代子 さん
(山下町) (幡町)

【利用について】
会員登録が必須。月会費400円、利用料1時間30分200円、100円利用料。月利員供ぞ
72-4574

利用者の自宅での子ども一時保育や、保育園・小学校・児童クラブへの送迎などを行っています。お預かりしたお子さんが次第に慣れてきてくれると嬉しいですね。また、様々な講座や教室に通うために、最初は心細く子どもを預けていくお母さんも、お母さん同士で交流の輪を広げ、生き生きとした表情で子どもと過ごすところへ帰ってくる。そんな顔を見るのも嬉しい。やはり、育児をする上でリフレッシュすることは、とても大切なことなんです。

育児をしながら、働く方、地域活動する方、趣味をする方など、いろいろな人がいます。それらの方々の子育てを、私たちがサポートしていきます。

健康づくり推進課

家族みんなを支援していくのも大切な役目。



(左から) 潮田 葉子 保健師
富田 晶子 保健師
佐々木 英里 保健師

お宅を訪問したり、各種健診・教室などを開催して、妊娠から出産、子育ての時期に合わせた支援を行っています。

最近では放射能による身体の影響の相談を多く受けますね。その他、不安に思ったり、分からないことがあればぜひ相談に来てください。安心して子育てをしてもらうために、訪問指導やウエルカム赤ちゃん教室などを通じて、育児の中心となるお母さんはもちろん、その旦那さんなど家族みんなを支援することも、私たち保健師の大切な役目だと思っています。

【例えばこんな支援事業】

ウエルカム赤ちゃん教室
(赤ちゃんを迎えるママ・パパのために)

こんにちは赤ちゃん訪問

乳幼児健康相談

乳幼児訪問指導

すてっぷ教室

ママ・ほっとタイム

保育サービスの充実

公立保育園の保育時間を延長

愛保育園(午前7時〜午後7時)

木崎・金砂郷保育園(午前7時30分〜午後6時30分)

放課後児童クラブの保育時間を延長
平日の預かり時間を、午後6時30分まで30分延長し、さらに土曜日も午前8時から午後6時まで開設しています。問子ども福祉課(内線161)

地域の子育て・交流支援

子育てを地域のみならず支える広場の交流・情報交換など

水府保健センター/毎月第2・第4水曜日(祝日除く)午前10時〜正午

里美保健センター/毎月第1・第3木曜日(祝日除く)午前10時〜正午

問子ども福祉課(内線161)

子育て支援センター

保育園の支援室や園庭の開放、育児相談、出前保育など

愛保育園/こどもセンターうぐいす/さとみ保育園

放課後子ども教室を開催
小学校17校で週1〜2回開催

ママ・プレママサロン

図書による妊娠・育児の情報提供、読み聞かせ、情報交換など

問図書館(72-5555)

市ホームページに専用ページを掲載

子育て情報やまぶきキッズ！は、市ホームページからもご覧になれます。



*ライブイベントの「妊娠出産」「育児」「入園入学」からも見ることができます。

市ホームページの
ココをクリック！

【ココがポイント！】
妊娠時から出産、乳幼児期、保育園や幼稚園の入園、小・中学校の入学時など、成長過程に応じたさまざまな制度や必要な手続きを紹介しています。
病気やけが、子育てや家庭内で悩んだときに相談できる機能を紹介しています。

子育て家庭応援情報誌「やまぶきキッズ！」は、子育て支援に関する総合的な情報を提供しています。
子育てに役立つ情報が満載なので、ぜひ活用してみてください。

この1冊に子育て情報が満載
「やまぶきキッズ！」を上手に利用しよう

とっても便利ね！



子育て情報やまぶきキッズ！



【やまぶきキッズ！配布場所】

市役所本庁1階ロビー、子ども福祉課、各支所、各保健センター、各保育園・子育て支援センター、教育総務課、各幼稚園、生涯学習センター、各公民館、各図書館、各社会福祉協議会、各医療機関など

育児などで困ったときには

一人で悩まず、まずは相談を

家庭児童相談室

家庭は子どもの健全育成の基盤であり、人格形成にとって大きな影響を及ぼすものです。

家庭児童相談室では、専門の相談員が、しつけ、適性、養育、非行、性格など、家庭における子どもの養育に関し、さまざまな相談に応じています。



家庭相談員
豊田 洋子さん 富永 正壽さん

【家庭児童相談室】月～金 午前9時～午後4時（市役所本庁1階 子ども福祉課内 内線161）

行政と地域、まち全体で
皆さんの子育てを支えています。

子育てに優しいまち常陸太田で、安心して子どもを育ててください。まことに、子どもたちのたくさんの笑顔があふれることを願っています。

福祉相談センター 日立児童分室（児童相談所） 0294-220294	子育てに関する相談全般、児童心理判定員による面接、助言など
各地域の民生委員児童委員	福祉に関するサービスに向けた情報提供、助言・援助など
健康づくり推進課 （73-12112）	妊娠・出産、育児相談、予防接種や健康診査、心理相談員や言語聴覚士による子育て相談
教育委員会指導室 （内線561）	就学（前）相談、特別支援学校や特別支援学校との連絡調整など
青少年センター相談室 （72-88888）	しつけ、非行、友人関係、その他学校外活動などに関する各種相談
いばらき虐待ホットライン （0293-220293 / 24時間受付）	子どもが虐待されていることに気付いたり、子育てに困ったり、虐待しそうなになったら連絡を
子どもホットライン（子ども専用電話相談） 029-2218181	いじめや不登校、友人関係の悩み、社会や家庭生活に対する不満など

*その他、保育園や幼稚園、子育て支援センターでも相談に応じています。

「シリーズ」風評被害を吹き飛ばそう！ がんばろう常陸太田！

今年も美味しい！常陸太田の「米」

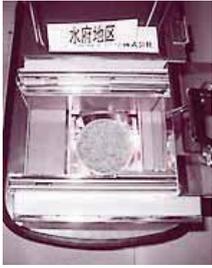
東日本大震災により発生した福島第一原発の事故のため、全国各地で「風評被害でモノが売れない」という事態が起きています。本市の安全で安心な美味しいお米を多くの人に食べていただき、市民の皆さんと行政が力を合わせて、風評被害を吹き飛ばしましょう。

米の放射性物質を調査しPR活動を展開。

玄米の調査結果

国・県・市・J.A・集荷業者などが連携して、8月18日に粟原・島・中利員町の3カ所で作採した玄米の放射性物質（ヨウ素・セシウム）の予備調査を行った結果、放射性物質は検出されませんでした。

9月10日には市内20カ所で採取した玄米についての本調査を行い、9月15日頃に結果が出る予定です。



放射性物質測定器



放射性物質測定器を使った検査の様子

さらに市では、8月26・29日に、機初・郡戸・染和田・小里地区で「もみ」の放射性物質を測定し、次の通りの結果となりました。

もみ（8月26・29日採取）	検出せず
放射性セシウム（暫定規制値500ベクレル/kg以下）	検出せず

*「検出せず」とは、放射性セシウムが存在しないか、検出限界値（検出できる最小の値）未満のことです。

市では、市民の皆さんに安心していただけるよう、継続的に農産物の測定調査を行い、公表してまいります。

積極的なPR活動を実施

米の安全性をPRするため、市では市内店舗の協力を得て電光掲示板を利用したのPRを実施します。また、のぼり旗の作成や、市外のイベント等で米を販売するなど、本市の米の安全性や魅力について積極的にPR活動を行ってまいります。

安全・安心で美味しい米を作るために。



米を考える会会長 大島 勝正 さん（三才町）

本市の米は、昔から最高ランクの「特A」の評価を得るほど、品質のが高いのが自慢です。

安全・安心な米を作るため、種子消毒を温湯^{おんゆ}で行い、堆肥を多く使い、減農薬で育てています。

粒が大きく香り高く艶やかで、美味しい米を作りたいという思いで、會員みんなで努力しています。

皆さん、美味しい常陸太田の米を、ぜひ食べてください。

「黄門マルシェ」でぶどう・梨をPR

8月21日、県が東京都中央区銀座に開いた「黄門マルシェ」いばらき農園^{いばらきのん}で、生産者とJ.A茨城みずほ、市が連携して本市のぶどう・梨のPR活動を行いました。

黄門マルシェでは、ぶどう・梨の試食・販売や、安全性をPRしたチラシを配布。震災による風評被害により販売の落ち込みが懸念される中、都市部の方々に本市の特産物の美味しさや安全性をアピールしました。



黄門マルシェの店舗前に設けた常陸太田ブースは多くの人でにぎわった

農業経営士として本多孝文さんが新たに認定

県では、地域農業のリーダーとして、農業担い手の確保・育成や地域農業の振興のために活躍してもらった農業者の方々を、農業経営士・女性農業士・青年農業士として認定しています。

7月15日に水戸市の県市町村会館で、平成23年度の農業経営士の認定式が開催され、本市からは本多孝文さん（馬場町）が橋本昌典知事より認定証書を手渡されました。

本多さんは、ぶどうの栽培・販売に携わって25年、巨峰を中心に、常陸青龍などの品種を栽培。農業経営士に認定されて光栄です。農業に携わる方々の見本となれるよう、これからも頑張ります」と、本多さんは力強く意気込みを話してくれました。



大久保市長に農業経営士に認定されたことを報告する本多孝文さん。本市の現在活躍している農業経営士として本多さんは7人目となる

太田一高 定時制卓球

庄司 美穂さん 佐々木 竜也さん

全国高等学校定時制通信制体育大会に出場



庄司さん
「県大会3位で出場権を得て、初めて出場しました。1回戦3-1、2回戦、2-3でした。負けた試合も納得のいく試合ができたと思っています。全国大会という大きな大会に参加して貴重な経験ができました」

佐々木さん
「昨年に続いて出場しました。1回戦3-0、2回戦3-2、3回戦2-3で惜しくも3回戦で負けてしまいました。昨年の結果以上を目標として臨みましたが、昨年と同じで、残念でした。来年こそはもっと上位を目指したいと思いません」

太田二高 山岳部

第55回関東高等学校登山大会に出場



（左から）山下 莉奈さん、柴田 千夏さん、坏 なつみさん、小玉 涼香さん、和田 里紗さん、阿内 爽香さん

リーダーの和田さん
「今年の関東登山大会は、山梨県で9月30日から10月2日に開催され、編笠山（2523.7m）に登ります。北アルプスで夏合宿もしたので、体力がついてきました。頑張って登頂を目指します」



太田二高 なぎなた部

会沢 麻祐さん

第66回国民体育大会に出場

「10月の山口国体に、県代表チームの団体戦の大将として出場します。この大会が高校最後の試合。今までの大会では引き分けや判定が多かったので、最後は『一本』を取って勝ちにいけます。P.S. 中学生の皆さん、二高に入学したらぜひなぎなた部へ！」

和田町の夜祭・町田町のお宝探し発表会

7月27日、和田町で50年ぶりに御不動尊夜祭が行われました。町会役員が中心となって復活させたこのお祭りには、地元の皆さんの笑顔と工夫があふれていました。



和田町

竹で作った流しそうめん、子ども太鼓、綿あめ、かき氷、民話のお話会など、手作り感がいっぱい。夕暮れ時には多くのあんどんに灯がともされ幽玄な雰囲気。最後には参加者みんなで花火を楽しみました。



8月10日町田町会では、エコミュージアム活動で地域資源の魅力を見つけ出す「お宝さがし」の成果発表会を、鹿島神社の祭事に合わせて行いました。



町田町

各班から魅力ある地域資源の報告がされた後、焼き鳥、焼きそば、かき氷、くじ引きなど盛りだくさんの「納涼夜店」が行われ、地域の方々にぎわいました。



持方地区で高校生が自然体験学習

8月2日、にほんの里100選に選ばれた持方集落で文化や自然環境を学ぶため、太田一高・太田二高・佐竹高による三校合同の自然体験学習が行われました。

集落にある白木山ハイキングコースを巡り、エコミュージアム推進委員の桐原弘さんの説明を受け、珍しい植物などを観察しながら、植物や樹木に名前のプレートを取り付けました。昼食は地域の方と一緒に交流を深め、午後は環境保全活動を行いました。



ちょっと寄り道

今月は瑞龍町

もとさかけ いちよう
源栄家の大銀杏



この大銀杏は、源栄さんのお宅の敷地内にあるのですが、水戸徳川家の墓所でもある瑞龍山への山道沿いに位置しています。

瑞龍町熊ノ堂地区には、樹齢300～400年の銀杏の巨木があります。

高さ約30m、幹周り5.7mですが、地上1.3mの計測ポイントのあたりが最も細く、そこから上に向かってだんだん太くなっていきます。

また、大小30数本ある乳根と、直径1m以上の枝が四方八方に広がっていく様はとても雄大です。数十年前、この辺りの人は黄色く色づいた銀杏の葉を目安に、稲刈りを始めたそうです。

今月は瑞龍町一町会でしたので、来月は瑞龍町二町会に寄り道します。



紹介者
瑞龍町
深津 澄世 さん

ひたちおおたの巨木

モデルの巨木



県指定天然記念物
真弓神社の爺杉
根囲 15.4m / 幹周り 10.4m
/ 樹高 約 45m / 推定樹齢
約 940 年

10月29日(土)～30日(日)に本市で開催される「第24回巨木を語ろう全国フォーラム茨城・常陸太田大会」に向けて、太田一高、太田二高、佐竹高の美術部が中心となり、3校合同で「真弓神社の爺杉の実物大モニュメント」の制作にチャレンジしております。

この取り組みは、幹周りが10・4m、根元が15・4mもある、茨城県内最大級の杉を作るといって、とんで



集められたペットボトルで作成に取り掛かる高校生の皆さん

ペットボトルで巨木の実物大モニュメントを制作中じゃ！



森の精「うっじい」

もなくてつかいプロジェクトなんじゃ！

材料となる「500mlのペットボトル」が大量に必要となることから、高校生たちは

は多くの方々の協力を得ながら集めておる。

完成したモニュメントは、パルティホールに展示されるので、ぜひ見に来るのじゃぞ。

問文化課エコミュージアム推進室(内線541) / 郷土資料館(723201)

つながりぼん ~ 地域おこし協力隊の活動報告 ~

梨園&ぶどう園サイクリングコースとパンフレットが完成!

ルリエ Relier は、市観光物産協会のサイクリングコース作成に協力させていただきました。

コースは常陸太田駅を出発して、小沢町～内田町～小目町を經由して常陸太田駅に戻る「梨園コース」と鯨ヶ丘を登り馬場町～増井町を經由して常陸太田駅に戻る「ぶどう園」コースの2つ! 私たちは梨園コースを実際に回って選定しました。何度も何度もコースをぐるぐる回り、目印となるポイントを探したり、どの道を通ると景色が良いかなど考えました!

また、パンフレットには、梨・ぶどうの「美味しい理由」や、JA 茨城みずほ梨部会・ぶどう部会名簿も掲載(^^) 自転車は常陸太田駅の観光案内センター(73-1700)でレンタルできます!(4時間200円) 電動アシスト付きで坂道も楽々 サイクリングを通じて、のんびり常陸太田の歴史や自然に触れながら、旬の味も楽しんでください(´・`)



サイクリングコースパンフレット「梨園コース」⑤と「ぶどう園コース」⑥。パンフレットは常陸太田駅の観光案内センターに置いてあります。



*「つながりぼん」とは、チーム名 Relier (フランス語で結ぶ、つなぐという意味) から連想される「つながり」とシンボルマークである「りぼん」を組み合わせで名づけました☆

地域おこし協力隊とは?

平成21年度から始まった総務省の事業で、都市圏の住民が1～3年間、過疎地域に住民票を移し地域で生活しながら、農林漁業の応援、水源保全・管理など様々な地域協力活動をしていきます。 RelierのBlog * <http://ameblo.jp/ykm-satomi3103/>



夏祭り盛大に開催

「8月14日」
がんばってます常陸太田夏祭り



例年、鯨ヶ丘（東一・二・三町）と山吹運動公園で2日間（8月14日・15日）開催していた祭りを、今年は震災の影響から鯨ヶ丘で1日のみの開催となりました。

祭りのテーマは「常陸太田の底力」。歩行者天国になった会場で、市民神輿や天神ばやし太鼓、久自楽舞、盆踊りなどが披露され、集まった大勢の観客を魅了し、震災の暗

いムードを吹き飛ばす、まちなぎの元気とパワーがみなぎった祭りとなりました。

また、市内中・高校生約140人のボランティアが参加して祭りの運営に協力。ウチワの販売などによって得た協賛金は運営費用に充てられ、その一部は震災復旧のための義援金として、市に寄付される予定です。

- ①久自楽舞を踊る子どもたち。市内保育園・幼稚園児による盆踊りや「みなサンバ」も披露され、集まった大勢の観客を楽しませた
- ②天神ばやしのパレード。終盤には各団体が集まって一斉に太鼓を打ち鳴らし、力強い迫力のある演奏を披露した
- ③威勢のいい掛け声が祭り会場を盛り上げた「鶴龍会」の神輿

「8月5～7日」
竜神峡灯ろうまつり

8月は夏祭りの季節。がんばってます常陸太田夏祭りや竜神峡灯ろうまつり、さとみ夏まつりをはじめ、各地域で趣向を凝らした様々な祭りが開催されました。



「がんばって茨城！がんばって常陸太田！」を合言葉に、子どもたちが描いた創作灯ろう、被災地復興灯ろうなど500基の灯ると竹灯りが、竜神峡の夜を演出。訪れた人々は、大吊橋を渡りながら幻想的な景色に見入っていました。

- ①深い霧に包まれ、幻想的な大吊橋
- ②様々な灯ろうの眺望が、絵と描かれた大吊橋の眺望を楽しませた
- ③常陸太田の音楽会

さとみ夏まつり

さとみふれあい館イベントステージでじゃんけん大会が開催されたのを皮切りに、地元里美華翠連や里美太鼓会の演奏・アジューワールドやヴァイオリニスト竜馬などコンサート盛りだくさんの内容でした。

最後の締めくくりに花火が行われると、子どもたちからは大きな歓声があがりました。



のさの
らる
る火
アガ
れ
た
点
ア
と
れ
た
で
イ
見
た
近
た
薄
ど



[8/6 佐竹南台夏祭り] わたあめやポップコーン、かき氷などの出店の他、野菜などの即売会、お楽しみ抽選会、地域住民の趣味の作品展示会などが行われた



子どもから大人まで参加しての浴衣コンテストが行われ、色鮮やかな浴衣姿が祭りを華やかに彩った



[8/14 松栄夏祭り] 地域住民約200人が参加して、地域内を子ども神輿が回った後、焼きそばやかき氷などの出店、景品付き盆踊り大会、花火大会などが行われた



[8/13 天下野地区ふるさと祭り] 力強い太鼓の音が響く中、天下野地区の16団体176人が踊った盆踊り。カラオケや抽選会なども行われた



[8/7 中内田町盆踊り大会] 約170人が参加して30年ぶりに盆踊りを盛大に開催。子どもたちの太鼓に合わせて元気に踊った。流しそうめんなど6つの模擬店も盛況



[8/14 河原野納涼祭(上深荻町)] 地域住民約80人が参加して、射的やスイカ割り、ニジマスのつかみ取り、花火などを楽しんだ



[8/14 ふるさと祭り(山田地区)] 子ども神輿が山田小グラウンドを回った後、盆踊りや竜神ばやし、子ども芸能発表、カラオケ大会、抽選会などが行われた



「8/14 西河内納涼夏祭り花火大会」西河内どんぐりクラブが主催して、盆踊りや民謡などを行った。盛大な打ち上げ花火は、集まった約3000人の参加者を魅了した



[8/20 白幡台夏祭り(大中町)] 焼きそば、焼き鳥など、美味しい物をたくさん食べた参加者は、手作りの行灯を並べた幻想的な雰囲気の中で盆踊りや花火を楽しんだ



[8/20 真弓ヶ丘団地夏祭り] 親子お神輿が地域を練り歩き、子どもたちのマルモリダンス、久自楽舞、カラオケ歌謡ショー、盆踊りなど盛りだくさんの内容となった



[8/14 なかの夏まつり] 地域内を巡る子ども神輿の後、子ども太鼓、カラオケ大会、ビンゴゲーム大会などが行われ、テント村では焼きそばやかき氷などが販売された

各地で開催された夏祭り

*今回は一部の地域を掲載しましたが、他にも三才町、天神林町、瑞龍町、茅根町、大平町、小島町、下利員町などで夏祭りが開催されました。

汗と涙の5日間

久慈の杜 100km徒歩の旅

子どもたちが100kmの道のりを5日間かけて歩く「久慈の杜100km徒歩の旅（常陸太田青年会議所主催）」が8月7～11日に開催されました。徒歩の旅には小学生4～6年生52人、学生ボランティア26人、社会人ボランティア3人が参加。全国的にも猛暑の日が続く今年、市役所を出発した参加者は、常陸大宮市、大子町の2市1町を暑さに耐え、沿道からの声援を受けながらひたすら歩き続けました。

今年で4回目となった徒歩の旅

常陸太田青年会議所（鈴木康之理事長）が中心となり「まちづくり市民提案事業」の採択を受けて行われた徒歩の旅は、今年で4回目。子どもたちに「助け合いの心」や「忍耐力」を身に付けてもらおうと、4泊5日の日程で100kmを歩きぬきます。

初日7日の結団式では、大久保市長が「一日一日を大切に元気に歩いてほしい」と激励。市役所天神ばやし保存会の太鼓が鳴り響く中、保護者など大勢の方々が「頑張れー！」と、子どもたちを送り出しました。

中止が検討されるも開催を決定

今年は、東日本大震災の影響で中止も検討されたものの、市民からの開催を望むたくさんの方の声により開催を決定しました。しかし、震災の影響で準備が例年より遅れ、学生ボランティアの募集状況から、78人の応募があった子どもたちのうち、約7割程度しか受け入れることができない状況での開催となりました。

稲田昌孝団長は「今年も旅が開催できて本当に良かった。これも、いろいろな方々の協力のおかげです。5日間の旅の中で子どもたちは成長し、『やればできる』という自信を持ってくれたことと思います」と嬉しそうに話してくれました。



7月30日、8月3～5日



河童ばやしを楽しく踊る市民交流団の皆さん

また市では、ぶどう・梨のチラシを配布し、本市の特産品をPR

「大声を出しながら踊って気持ち良い汗をかいた」「地元の方ともお話ができた」など、祭りを存分に楽しんだ参加者。踊りを通じて市民交流の輪が広がりました。

り」などを披露しました。

牛久市との交流は合併前の水府村時代から行われているもので、交流団の参加者はオーブニングセレモニーに出席した後、「河童ばやし」の踊りパレードに参加。また、今年は天下野和華衆がメインステージで、「よさこいソーラン踊り」などを披露しました。

里まち交流掲示板

人と歴史が結ぶ交流の絆
市民交流団が牛久市・秋田市・仙北市を訪問

7月30日、姉妹都市の牛久市で

開催された「第30回うしくかつば祭り」に、本市の市民交流団（105

人）が参加しました。

してきました。

8月3～5日、「佐竹氏」を縁

とした秋田市・仙北市との連携交流の一環として、本市の市民交流

団（27人）が両市を訪問しました。

秋田市の天徳寺や久保田城址、

仙北市の角館武家屋敷などを見学

し、夜には秋田竿灯の迫力に参加

者はみな感激していました。また、

仙北市市長や久保田城址歴史案内ボ

ランティアとの懇談を行い、交流

を深めました。

「温かな歓迎が素晴らしかった」

「両市の歴史を知ることで、常陸太

田市民としての誇りを感じた」な

ど、参加した皆さんはさらなる友

好が深まることを願っていました。



秋田竿灯祭り④と久保田城址を歴史案内ボランティアの案内で見学する参加者

広報協力員の

突レポ!

突撃！取材現場レポート

太古のロマンを求めて
はたそめ探訪

【レポーター】

機初地区広報協力員 大金 博さん



はたそめ探訪講師

田所 洸夫さん

大金 協力員



6月19日に開催された講演会の様子

今回は機初公民館（埴博道館長）主催の「はたそめ探訪」をレポートします。

「はたそめ探訪」は、今年初の実施で、機初地区には地域の人も知らない地域資源がたくさんあるので、それらを含んで再発見していこうと企画されたものです。

第1回は、長谷町の茂宮川上流で確認された日本最古の地層について学ぼうと、6月19日に「常陸太田市」日立地域における地層分布」の講演会を開催しました。日本鉱業で鉱床探査を担当していた高貫町の田所洸夫さんを講師に迎えて、長谷町周辺の「西堂平層」や、長谷林道、高貫林道周辺の地質などの詳しい講演をいただきました。

7月31日の第2回では実際に地層の見学会を実施しました。田所洸夫さんの案内のもと、参加者は茂宮川

沿いの長谷林道を歩きながら、約5億1100万年前のカンブリア紀の地層を見て回りました。

年4回開催する予定で、第3回が「長幡部神社と機織りについて」、第4回が「機初の歴史（幡山古墳について）」の内容で開催します。

また来年度は、三才町、西宮町、田渡町、長谷町、高貫町の歴史について探訪予定です。



7月31日に開催された現地見学会。地域の方々約50人が参加して日本最古の地層を観察した

本市で国体関東ブロック大会開催 ハイレベルな試合に観客が沸いた



8月20～22日、本市で国民体育大会関東ブロック大会ソフトボール競技が開催され、成年男子・女子、少年男子・女子の部において、関東8都県の代表32チームが、山吹運動公園野球場ほか4カ所で開催された。茨城県チームも各会場地元の大きな声援を受けて健闘しました。

成年女子の部で優勝したのは、2008年北京オリンピックで金メダルの上野由岐子選手を擁する群馬県チーム。上野選手の世界レベルの速球が観客を沸かせました。



各会場では「ようこそ常陸太田市へ」と本市の特産品の販売ブースを設け、市外からの来場者にPRした

本市の美味しいぶどうが今年も旬！

「旬刊！いばらき」で紹介



8月10日、増井町のぶどう園で、タレントの磯山さやかさんがテレビ企画の撮影を行いました。撮影は、いばらき大使の磯山さんが、県内の観光地や特産品などを紹介する「旬刊！いばらき」のために行われたもので、巨峰の紹介やワインを実際に試飲。



テレビを通じて全国に本市の情報を発信する絶好の機会となりました。
*「旬刊！いばらき」は毎週金曜日の午前10時50分頃からテレビ朝日の「ちい散歩」内で放送。この撮影は9月2日放送済み（予定）

ぶどう園プレオープン



9月1日の露地ぶどう園のオープンに先駆けて、8月20日に太田進徳幼稚園の園児を招き、プレオープンのイベントが開催されました。



招かれた園児たちは、「おいしいぶどうの見分け方を教えてもらい、ハウスの中へ、「こっちのほうが大きいよ」「色が濃いね」などと真剣に選びながら、親子でぶどう狩りを楽しみました。採ったぶどうはプレゼントされ、園児たちは「甘くておいしい」と夢中で食べていました。

整備が進む県北の交通ネットワーク 広域農道が開通

8月1日、町屋町において、県北東部地区広域農道（町屋町～日立市入四間町区間）の開通式が行われました。開通したのは約4.7kmの区間で、最も高い

地点は標高314m。清らかな里川の流れや遠くの山々を一望できます。今後の県北地域の観光振興などに寄与するものと期待されます。



式典でのテープカットの様子



新常陸太田駅完成記念イベント

トロッコ風列車と夏物語2011

8月24日、JR常陸太田駅にトロッコ風列車「ハッスル黄門号」が停車しました。新駅舎完成を記念して市とJR東日本(株)が企画したもので、太田・二高のボランティアが協力し、「ハッスル黄門」が乗客を楽しませました。

また、駅のイベント広場では「常陸太田駅夏物語2011」が開催されました。地元山下町の有志などが中心となり、多くの出店や子ども



山下町の有志の方による焼きそばや焼き鳥など様々な出店が行列ができた



常陸太田駅に到着した「ハッスル黄門号」。駅や線路沿いに大勢の見物人が集まった



「新駅舎万歳ステージ」で大いに盛り上がった



夜になっても大勢の人でにぎわう常陸太田駅の駅前広場

も広場、バラエティ豊かなステージ演奏などが行われ、たくさんの人出で賑わいました。山下町の皆さんの多くの出店をはじめ、常陸太田大使電馬さんの餃子や、地域おこし協力隊の「常陸こまり」が特別出品。

「常陸こまり」は市の特産物のそばなどを材料に独自に考案したご当地グルメ。用意した200食はすぐに完売し、好評を博していました。

10月1日は「浄化槽の日」

定期的な浄化槽の点検と清掃を

浄化槽を所有している方は、保守点検と清掃を定期的に行うとともに、毎年1回の法定検査を受けることが法律により義務付けられています。

どんなに性能が良い浄化槽でも適切な管理をしないと能力が発揮できません。忘れずに点検等を行いましょう。

保守点検、清掃、法定検査

【保守点検】
浄化槽内の機器、送風機やタイマーなどの点検調査を行います。

消毒剤を定期的に補充し、放流先が不衛生にならないようにします。
10人槽以下の家庭用浄化槽の場合、年3〜4回行う必要があります。
県に登録している保守点検業者に委託してください。

【清掃】

浄化槽内にたまった汚泥などを抜き取ります。

年に1回以上(全ばつ気方式は6カ月に1回以上)行う必要があります。
市の許可を受けた清掃業者に委託してください。

【法定検査】

浄化槽の保守点検・清掃がきちんと行われ、きれいな水が放流されているかを検査します。

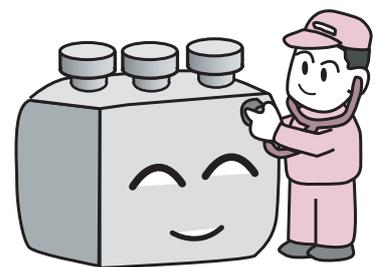
最初の検査は、浄化槽を使い始めてから3〜8カ月以内に行い、その後は毎年1回受ける必要があります(検査は有料です)。

茨城県では県指定検査機関である茨城県水質保全協会が実施していますので、こちらにお申し込みください。
(029 291 4004)

こんなことに注意
ください

水に溶けない紙類は、詰まる原因になりますので流さないでください。
強い洗剤をたくさん使うと浄化槽内の微生物が死んでしまします。洗剤は少なめに使いましょう。
野菜くずやたんぷら油は流さないでください。浄化槽では処理できません。
空気を送らないと浄化槽内の微生物が死んでしまします。ので、ブロワー(送風機)の電源は切らないでください。

問 下水道課業務係(内線521)



浄化槽

温かいご支援・ご協力、 ありがとうございます。

東日本大震災の発生後、本市に多くの個人、企業、団体などから義援金や支援物資が寄せられました。また、風評被害対策のため、店舗の電光掲示板で農産物等のPR活動にご協力いただいています。心から感謝を申し上げます。

義援金（7月29日～8月29日受入分 順不同、敬称略）

《団体・法人》

常陸太田市地区町会長協議会連合会 8万3千円 / 瑞竜白鷺会 4万6900円 / 河内公民館 1万8127円 / 徳長会 1万7500円 / 佐竹南台自治会 4万537円 / 小島ふるさと夏祭り実行委員会 4万477円 / 中野夏まつり実行委員会 1万円 / 下利員町大成会 2万8712円 / ガールスカウト日本連盟茨城県支部第31団 3万9099円 / 東日本大震災チャリティゴルフコンペ実行委員会 30万円 / ㈱ナリス化粧品 ナリスビューティスタジオ Delim 日立南 1万円 / 県政との絆

を守る会 15万8500円 / 筑波銀行 20万円 / シダックス㈱ 5万円 / 秋田県仙北市 15万9151円 / 石川県輪島市 20万円 / 大震災支援スペシャル「CARPE DIEM」今日の日を大切に」 9万5940円 / David Myers & David Myers Group 175万4209円
匿名の方3件 60万2438円
義援金累計 3千520万1120円

ぶどう・梨PR活動電 光掲示板協力

（敬称略）
大谷豊店 / ㈲ロイヤルオート / くるま館 JACS / 森山自動車整備販売 / ㈲青木自動車工場 / ラーメン武蔵 / らぁ麺ヤコント / 温泉旅館 宝来館

「ふるさと常陸太田」への「支援ありがとうございます」

ふるさと納税により、寄附をいただいた方です。寄附金は大切に使用させていただきます。

平成23年分（7月受入）

匿名の方（常陸太田市） 2万円 / 用途の指定なし

消費生活相談コーナー

パソコンのアダルトサイトの 請求画面が消えない！

請求画面が消えない！

【相談事例】

親の留守中に、中学生の息子が友達とパソコンのアダルトサイトに入り、年齢確認で「20歳以上」をクリックしたら登録完了になってしまった。「3日以内に9万9千円支払うように」との請求画面が貼り付いて消えない。パソコンを強制終了させてから再起動しても請求画面が現れてしま

【アドバイス】

「アダルトサイトの請求画面が表示され消えない」というトラブルに、大人だけでなく子どもも巻き込まれていきます。

請求画面を閉しても繰り返し表示されたり、パソコンを再起動しても請求画面が現れ

たりする現象は、ウイルス感染の可能性も考えられます。安易に「はい」「ENTER」などをクリックしたり、プログラムのダウンロードなどを行ったりしないことが大切です。

ウイルス対策ソフトなどは常に最新の状態に保つようにしましょう。子どもがパソコンを使う家庭では、フィルタリングソフトの導入も効果的です。

請求画面の削除には（独）情報処理推進機構（IPA）のホームページ（<http://www.ipa.go.jp/security/topics/alert20080909.html>）が参考になります。

問市消費生活センター

（70 1322）

清泉女子大生が農作業実習

7月31日～8月7日、東京の清泉女子大学の学生18人が、里美地区の農家でホームステイをしながら農作業などの実習を行いました。

これは大学のフィールドワークという授業の一環で、徳田町在住の伊藤達男さんが同大の非常勤講師をしていることから毎年行われています。学生たちは農家の方の指導のもと、猛暑の中でジャガイモ掘りや除草作業に励み、また、農業者グループ「野良の会」と、農村の現状と課題について意見交換などを行いました。地域住民と交流を通じて、学生たちにとって農業への理解を深めた有意義な9日間となったことでしょう。

【小里地区広報協力員より情報提供】



除草作業に汗を流す学生たち。「農業をすることは想像以上に大変だということを実感しました」と学生たちは話します

ヤマユリが咲く由緒ある公園

大里町の大里丸山農村公園では、7月下旬にたくさんのヤマユリが満開になりました。小高い丘の上にある公園の斜面あちらこちらに「群生」し、一帯がよい香りに包まれていました。昭和4年には、この地に昭和天皇が行幸、眼下で行われる軍隊の演習をご覧になったそうです。また、眺望も良く、遠く筑波山などの山々を望むことができ、四季折々に訪れる人を楽しませてくれる公園です。



咲き乱れるヤマユリの花

水戸藩ゆかりの「町田焼」づくり

7月29日、天下野町の水府こしらえ館で、夏の体験教室2011「町田焼を作ろう！」が行われました。小学生以下のお子さんとその保護者24組が参加し、「ひょうそく」という油を入れて火を灯す道具を作りました。講師は根本聡子さん、町田焼研究会（後藤進会長）の皆さん。後藤会長は「地元の土からつくる町田焼は貴重な地域資源。若い世代に残し伝えていきたい」、参加した子どもたちは「難しいけど面白い」などと話していました。



親子でなかよく

すごい集中力！

その笑顔 家族の宝 大切に

【小学生の部】河内小4年（受賞時） 菊池 和真

毎月第3日曜日は家庭の日 平成22年度常陸太田市家庭の日推進募集標語優良賞

とき 10月9日 午後3時～8時

ところ 西山荘入口のお休み処「西山の里桃源」

内容 ○桃源庭園（行灯）ライトアップ（午後

4時30分～午後8時）、
○庭園コンサート（沈琳の胡弓午後5時30分～6時30分、宇野順之のアルトサクソス夜市ライブ午後7時～7時30分）

○黄門様検定会（午後3時30分～4時）

○鯨ヶ丘夜市屋台村（午後4時～）

など、詳しくはホームページ（http://www.tougen.com）をご覧ください。

○西山の里「桃源」（☎73・1300）

西山の里桃源 お月見の夕べ

笑顔元気がんばってます ひたちおおた！



十三夜に照らされた日本庭園
響き渡る胡弓の調べ……
そして、常陸太田のおいしい味覚

編集部員のつ・ぶ・や・き

祭りやイベントが目白押しの夏も終わった。取材では、にぎやかなイベントの様子や、参加者の楽しそうな表情を写真に収めるのはもちろんだが、自分はイベントを運営している方々の動きや表情も気になってしまう。楽しいイベントの裏には、企画者の地道な努力が積み重なっているはず。そんな努力や汗も写真に収めていければと思う。（編集部員 K.M）

各学校でお泊り会が行われました

○ 佐都小学校

震災で校舎が使用できなくなった佐都小の子どもたちに思い出をプレゼントしようと、8月20・21日に**学校でのお泊り会**（佐都小PTA主催）が行われました。

また、子どもたちを元気づけようとお笑いタレントの「はなわ」と「こんのひとみ」のラジオ番組「ゆめをかなえよう」もやってきて、子どもたちの夢を歌にしてプレゼントしました。その後、子どもたちは飯ごうでご飯を炊きカレーを作り、花火を行い、ドラム缶風呂に入り、佐都小との思い出を胸に刻みました。



「設計士になりたい」や「歌手になりたい」などの夢を歌にする「はなわ」さん(左) 校庭で花火を楽しむ子どもたち

○ 河内小学校

8月20・21日、河内小で**夏祭り&学校泊イベント**（河内小PTA主催）が行われました。

校庭で行われた夏祭りでは、焼きそば、かき氷、ラムネなど、参加者は思い思いに味を楽しんだ他、子どもたちはグラウンドゴルフを楽しみました。夜になるとキャンプファイヤー、花火大会、肝試しを行い、盛りだくさんの内容に、子どもたちは皆とても生き生きとしていました。河内小の校舎を利用したイベントは、親子の夏休みの良い思い出となったことでしょう。【河内地区広報協力員より情報提供】

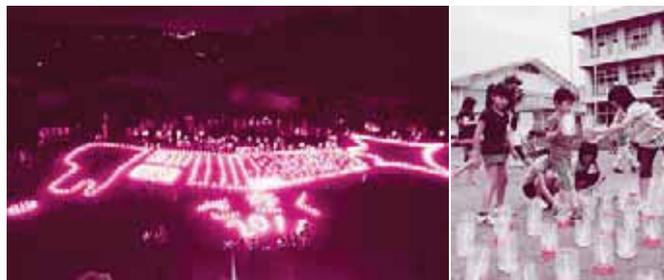


子どもたちの他、保護者など計64人が参加して学校でのイベントを楽しんだ 夜遅くまでおしゃべりに夢中

○ 幸久小学校

8月20・21日、幸久小で**学校に泊まろう&キャンドルナイト**（幸久小PTA、青少年健全育成幸久地区推進委員会、チーム幸久主催）が行われました。

参加した児童と保護者が、ペットボトルで作ったキャンドル約800個を校庭に並べて明かりを灯すと、夏の夜に見事な日本列島が浮かび上がりました。今年は震災の影響で体育館が使用できないため、教室での宿泊となりましたが、毎年の恒例行事を親子で楽しく過ごした2日間でした。



幸久小学校庭に浮かび上がった日本列島と「さきく2011」の文字 1本1本、キャンドルを丁寧に並べていく

○ 久米小学校

7月23・24日に、久米小学校で**夏休み防災キャンプ**（久米小PTA・おやじの会主催）が行われました。

今年で2回目の実施となる防災キャンプでは、市消防本部協力のもと、消火訓練や救急救命法、火起こし、飯ごう炊飯、カレーの炊き出し体験を行いました。夜は夏の星空観察をし、天体望遠鏡で土星を見ることができました。その後、体育館に設営したテントに宿泊し、たくさんの体験をした1泊2日となりました。



慣れない消火器の使用方法も子どもたちはすぐに習得 みんなで協力してテントの設営に挑戦

河内地区趣味の作品展示会

7月23・24日、河内公民館で**河内地区趣味の作品展示会**が開催されました。

公民館内には、地域の方々の写真、絵画、陶芸、書道などの力作の他、河内小児童の絵画や工作、同小の先生や保護者の方の陶工芸も展示。屋外では公民館のフラダンス教室の「アイナフラ・アロハグループ」による華麗な踊りも披露され、見物人から大きな拍手が送られました。

主催した河内公民館の根本伸之館長は「地域住民の趣味の発表の場に、学校の子もたちや先生など多くの方々の協力が得られて嬉しい」と話してくれました。



[左上] 2日間で約200人の見物人が訪れた
[上] 美しい光を放つ根本愛子さんの製作した「あんどんひょうたん」
[左] アイナフラ・アロハグループによる息の合った見事なフラダンス



Otani Katsuhito

大谷 一仁 さん (金井町)

がんばります

Vol.25

畳の製作業を営んで、私で5代目になります。子どもの頃から家の手伝いをしていたので、畳に関わってもう30年以上。最初は畳を作る機械の製造、その後、畳床作りを経て現在に至っています。その間に一級畳製作技能士、職業訓練指導員等の資格も取得しました。

畳は、その部屋の間取りや構造によって、大きさや深さが違います。いかに平らに、すきまがないように仕上げられるかが腕の見せ所。自分を選んでくれたお客さんには誠心誠意対応するのが信条です。自己満足せず、常に反省をしながらも、完成したときに「大谷さんに頼んで良かった」と言われると、やりがいを感じます。また、畳のへりを使ったバッグや小物を市役所の朝市や各種イベントにも出品少しでも畳に興味を持ってもらえたらありがたいです。

いま臨時的に70歳代後半の父と叔父に仕事を手伝ってもらっています。その働きぶりには「すごい」の一言。本当に昔の人は働き者です。今日の本そして大好きな常陸太田があるのはお年寄りの皆さんのおかげだと実感しました。

私たち若い世代は、もつと頑張らなければならぬし、頑張れるはず。畳屋の仕事は厳しいですが、人生の先輩を見習いながら、自分も次の世代に引き継いでいけるようガンバリます。



がんばってる若者 募集中!

- 対象** 市内で働いている若者
市外で働いている若者 (市民に限ります)
- 問** 情報政策課広報広聴係 (内線 303・304)

園児たちのキラリ

今月は「すいふ保育園」で〜す (^o^)
さくら組 (年長さん)

ちょうちんおぼけ

折り紙としんぶんしで、ちょうちんのおぼけをつかったよ。折り紙をきれいにはるのが大変だったけど、じょうずにできたでしょう?
夏祭りではぼくたち、わたしたちの太鼓に合わせて、年中さん、年少さんのおともだちが、おみこしをワッショイワッショイかつぐんだ!



ごとう ゆうか ちゃん
いわま こうえい くん
せきね やまと くん
とみた りょうた くん
かたおか あすみ ちゃん
なかじま よしと くん

くじらの水族館

「にじいろのさかな」の絵本をよんで、ペットボトルやきらきらの折り紙で魚を作って、お部屋を水族館にしちゃった!
大きいくじらもみんなで力を合わせてつくったよ。くじらにのると、海の中をお散歩しているみたいでいい気持ちだよ!



おおすか あい ちゃん
わだ りりか ちゃん
しいな さくら ちゃん
しらいし なつき ちゃん

ひたちおおた **てくてくウォーク** ④

市内の自然・史跡や特産品なども交えて見所をお伝えしながら、地元の身近なウォーキングコースを紹介していきます。地元の意外と知られていない名所や素晴らしい自然、見所を巡りながら、皆さんもぜひ歩いてみませんか。



まんばた
万畑のカシ

エコミュージアム活動で新たに発見された巨木。源頼朝が金砂城攻めのとき、山頂に万本の旗を立てたことから万畑の名がつけました。このカシは10月に行われる全国巨木フォーラムのパンフレットの表紙を飾ります。



ピュースポット

山道に入るとかなりの急勾配となるが、登るだけの価値は十分にあります。空気が澄んでいる日は日光連山まで見渡すことができます。

小さな水車がある

赤土ハイキングコース

今回は、「赤土町」を歩いてみました。「赤土」と言えば、やはり蕎麦です。赤土町の真ん中に「そば工房」があり、大勢のお客さんと賑わっています。

今回、この「そば工房」から出発しました。駐車場を出てすぐに、エコミュージアム活動でお室

に認定された「弁天様のもみじ」があります。通りを北に向かって歩いていくと、幾つもの蕎麦畑があり、畑で東京からやってきて蕎麦を作っているという方と出会い、一緒に歩いていた地域の方と畑の手入れの仕方などで盛り上がりました。また、少し山に入ると全国巨木フォーラムのパンフレットの表紙になった「まんばた万畑のカシ」に出会います。推定樹齢800年と言われる圧倒的な存在感に、パワースポットのような不思議な感覚を受けます。

山から見下ろす景色も絵葉書のようにきれいなものばかりで、季節によりその姿を変化させていきます。2時間ほどかけて5キロのコースを「そば工房」まで戻ってくると適度にお腹が空いて、旨い蕎麦を食べたくなること請け合いです。



岩井戸跡と桜並木



昔、西金砂神社の神事に使われていたそうです。また平成10年に整備された桜が毎年きれいに咲きます。

そば畑と乾燥場



蕎麦の季節には白い花が、春にはクリムソクローバーの赤い花が咲きます。周りの農家の乾燥場とマッチしてそれぞれの季節にまた来たくくなります。

弁天様のもみじ



エコミュージアム活動でお室に認定されました。途中の川がけっこう深く、橋を渡るのにドキドキ



なんとと言っても「常陸秋そば」が旨い! 「そばと長寿のイス」があり、座ると長生きするそうです!

表紙に
よせて

8月14日に鯨ヶ丘(東一・二・三町)で盛大に開催された、「がんばってます常陸太田夏祭り」。祭り会場に詰め掛けた大勢の観客の中を、威勢のいい掛け声と共に市民みこし同好会「鶴龍会」の神輿が進みます。担ぎ手の掛け声と観客の声援が真夏の夜に響き渡り、祭り会場には常陸太田の元気が溢れかえっていました。

発行 常陸太田市 / 編集 情報政策課 〒313-8611 常陸太田市金井町3690
72-3111(内線303・304) Fax72-3002

* 広報ひたちおおたは市のホームページでもご覧になれます
URL <http://www.city.hitachiota.ibaraki.jp/>

この広報紙は再生紙を使用しています